

問題【社会】

律令政治に関する次の問いに答えなさい。

- (1) 豪族が支配していた土地と人々を国家が直接支配する方針を何と言いますか。
- (2) 701年、全国を支配するために中国の法律にならって作られたものを何と言いますか。
- (3) 天武天皇の時代に作られた、日本初の銅銭は何ですか。
- (4) 唐にならって作られ、平城京の市でも使われた貨幣を何と言いますか。
- (5) 6歳以上の人に口分田を与え、その人が亡くなったら国に返させた制度を何と言いますか。
- (6) 口分田の面積に応じて稲を納めた税の名前は何かですか。
- (7) 743年に出された、新たに開墾した土地の私有を認めた法令を何と言いますか。

豆知識 雑学コラム

飛鳥時代の国のルール

みなさんの家庭では「家族間ルール」はありますか。例えば「外出から帰ってくる時間を決める門限」「勉強をしてからゲーム」というのもルールですよ。もし家で約束事を守らなかったら何かペナルティ…というのがあるかもしれませんが、それは国のルールも同じこと。今回は飛鳥時代から本格的に進められた、律令政治の歩みをみていきましょう。

618年に唐が中国を統一し、律令を中心とした国家体制が敷かれていました。日本では厩戸王（聖徳太子）以降、蘇我氏が独裁的な権力を持っていましたが、中大兄皇子や中臣鎌足によって倒されます。

中大兄皇子らは「改新の詔」を発表し、唐にならった天皇中心の中央集権国家を目指していきます。この詔には、豪族の私有地などを国家が直接支配する「公地・公民」の制度が示されています。また中大兄皇子は天

智天皇として即位し、「庚午年籍」という全国的な戸籍を作って「班田収授法」の制度を整えていきました。

そして701年「大宝律令」が作られます。「律」とは刑罰についての決まりで、むちでうたれる笞罪（笞刑）、杖でうたれる杖罪（杖刑）などがありました。「令」は政治を行ううえでの組織や決まりのことをいいます。

この大宝律令には、班田収授法による土地の支配、租庸調などの税制、国・郡・里などの地方行政の組織などについてもまとめられています。

こうして日本でも律令国家としての体制が整いますが、人口増加による口分田の不足が起こります。「三世一身法」「墾田永年私財法」により土地の開墾を奨励しますが、「公地・公民」の制度が崩れ、やがて土地の私有化が進み律令制も崩れていくこととなります。

【解答】

- (1) 公地・公民 (2) 大宝律令 (3) 富本銭 (4) 和同開珎 (5) 班田収授法 (6) 租 (7) 墾田永年私財法